

# 公／私的空間・関係性の変容に応える安全な暮らしの創生(仮称)

## － 安全な社会システムの創生と伝承 －

国立研究開発法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター H27年度新規研究開発領域(案) 2015

資料5-2  
科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会  
安全・安心科学技術及び社会連携委員会  
(第7回) H27.4.14

### 【本領域が目指す社会背景】

- ① 私的空間・関係性(親密圏)における暴力に対して関心や介入の高まり(例:家庭の安全神話(の誤解)が溶解。人権意識の高まり)
- ② 高齢者事故・犯罪(被害・加害)の増加、養育・介護における社会的孤立が暴力を生起
- ③ 公的空間・関係性(公共圏)における犯罪、事故は減少、高齢者・子どもの家庭内事故など残された課題
- ④ 「公」と「私」の関係性の変容し、境界(「間」)があいまい化
- ⑤ 情報通信技術(ICT)の急速な進歩によるサイバー空間の拡大

### 【今後数年の動向】

- ① 世帯の小規模化(非婚化、少子化)、高齢化による親密圏の変容
- ② 自己責任の拡大による公共圏との「間」での問題解決が必要に
- ③ 介護や防犯、交友など親密圏へのICTの利用がさらに進展

### 【着目する問題】

親密圏の変容・弱体化に着目し

#### 発見・介入しづらい空間・関係性での危害・事故

- 例
- ・DV(家庭内暴力)、養育・介護等における虐待、
  - ・いじめ、サイバー空間での加害、被害
  - ・家庭内事故・・・

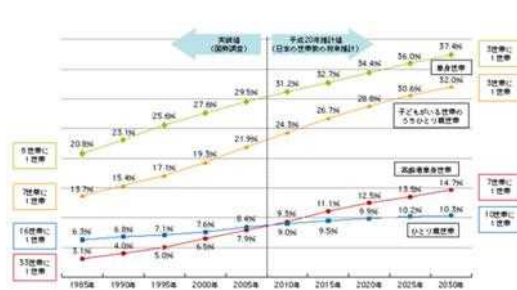
### 【本領域の目標】

発見・介入しづらい空間、関係性において生じる危害・事故を低減するための支援機能(発見・介入・予防・アフターケア)を強化し、安全・安心な社会の進展に貢献する(アウトカム)。そのために、以下の2つの観点で、社会実装を重視して研究開発を推進する。

- ① ICT等を活用した既存／新規社会システムの機能増強／比較・提案
- ② 発見・介入しづらい空間・関係性への配慮の行き届いたアプローチ

注)親密圏(intimate sphere)  
具体的な他者の生／生命とくにその不安や困難に－に対する関心／配慮を媒体とする、ある程度持続的な関係性を指すものとして用いる(斎藤純一:2003)

単独世帯・一人親世帯の増加(社会的孤立人口)



	単位千件	
刑法犯認知件数	2850(H14)	1310(H25)
ストーカー	1.3(H16)	2.1(H25)
DV	14.3(H16)	49.5(H25)
児童虐待相談	23.0(H14)	66.7(H25)
家庭内事故(溺死)	3.0(H07)	5.6(H24)
サイバー犯罪	6.3(H20)	8.1(H25)

出典:警察政策学会部会報告書2013, 警察白書2014年他

### 社会学的分析

- ・『家族の臨界』: 依存的他者との関係(上野千鶴子2008)
- ・『親密圏の戦後史』: 公的領域と親密圏の地続き化(上野大樹2012)
- ・『リスク化する日本社会』: 再帰的近代化理論(Ulrich Beck2011)
- ・『親密圏と公共圏の再編成』: 「公」「私」の歴史の変容(落合恵美子2013)

### 情報技術の可能性

- ・ネットワークカメラの高性能化・設置拡大
- ・見守りシステムやウェアラブル・センサーの発展
- ・Big Data, IoT, AI技術などの基盤高度化
- ・セキュリティとプライバシーのバランス議論(新たなプライバシー概念: Dynamic Privacy管理等)
- ・サイバー・フィジカル融合社会

### 研究開発の方向性・論点(目標と観点を踏まえたアウトプット)

	アウトプット	内容	テーマ例
A	配慮の行き届いた介入・支援のための社会技術	・被害者支援・加害者更生 ・支援者・NPO等支援 ・法整備、制度整備、教育	・「間」の重要性を考慮した新しい支援、調整機能 ・公的機関等との橋渡しの役割 ・規制の見直しと新たな提案
B	ICT活用による新たな支援機能	・ネットを活用した支援ツール ・Big Data, IoT活用による 予見・予防システム	・クラウド利用の遠隔見守り機器・システム ・取得した大量データによるルールの発見と活用システム(適切なプライバシー／セキュリティの確保)
C	社会システム・制度の創生・伝承	・公共圏での手法活用・援用 ・新たなプライバシー概念 ・調査および評価指標化	・本人と関連者のプライバシーを配慮した利用方法 ・状況に応じたプライバシーの管理・制御 ・海外調査、比較、グローバル展開

### 政策・施策の動向

科学技術イノベーション  
総合戦略(H26.6.24)

・持続可能な活力ある社会の実現  
・女性や若者がその持てる能力を  
余すことなく発揮して活躍できる環境

科学技術・学術審議会  
総合政策特別委員会  
(H27.1.20)

「我が国の中長期を展望した科学技術イノベーション政策について」: 望ましい「超サイバー社会」の実現に向けた変革